

「基本的な考え方」に関する質問回答

回答日 2018/08/08

No.	公表資料名称	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問	回答
1	基本的な考え方	2	第3	-	-	応募者の参加資格※	複数のクルーズ会社の連名による公募は、そのパートナーを何時までに決めればよいのか？	複数のクルーズ船社の連名による応募をする場合は、参加表明書を提出する際に、パートナーを決定する必要があります。参加表明書の受付期間につきましては、平成30年9月18日(火)から28日(金)9時までの予定です。 (「基本的な考え方」の9ページ「第11 今後のスケジュール(予定)」の「11.参加表明書及び資格確認書類の受付」を参照) なお、詳細は、9月4日に公表予定の「募集要項」でご確認ください。
2	基本的な考え方	3	第5	-	-	審査の流れ 参加資格要件	これは、いつの時点で決定するのか？	応募者の参加資格確認の結果につきましては、平成30年10月上旬に結果を通知する予定です。 (「基本的な考え方」の9ページ「第11 今後のスケジュール(予定)」の「12.参加資格確認結果の通知」を参照) なお、詳細は、9月4日に公表予定の「募集要項」でご確認ください。
3	基本的な考え方	4	第6	2	-	運用開始年 (2022年内)	2022年12月末か2023年3月末のどちらですか？	今回、募集する第2クルーズバースの供用開始年(岸壁及び背後地の埋立完了年)としましては、2022年12月末を目標としております。 なお、ターミナルビルを含めた国際クルーズ拠点としての運用開始年につきましては、本組合と連名で応募するクルーズ船社と協議して決めていきたいと考えております。
4	基本的な考え方	5	第7	-	-	提案書の審査※	発着港と母港の違いをより明確に説明いただきたい。	「基本的な考え方」で示しました寄港地、発着港、拠点港、母港につきましては、あくまでも本組合において独自にイメージし定義したものです。 発着港とは、クルーズツアーの発着地として短期又は単発で利用されている状況をイメージしております。 母港とは、岸壁の優先利用権を最大限に活用し、国内及びアジア圏内での港の中では、那覇港が最も発着回数が多く、長期にわたって国内、国外寄港地へのロングクルーズや県内周辺離島へのショートクルーズなど、多様なクルーズが実施されている状況をイメージしております。
5	基本的な考え方	8	第10	2	-	交渉責任者	外国人でもよいのか？	交渉責任者の国籍については、特に決めておりません。 ただし、本組合との交渉時に使用する言語については、「日本語」を使用言語としますので、通訳等が必要な場合は、船社側にて手配してください。